



未来の
仲間たちへ



こうのす共生病院 リハビリテーション RECRUIT BOOK

 医療法人社団鴻愛会
こうのす共生病院

このす共生病院のリハビリチームが担っている 役割と存在価値

「治して終わり」にしない。その先の人生まで、共に生きるリハビリを。



病院長よりご挨拶

私たちの強みである整形外科と高齢者救急、そしてグループ施設との連携を活かし、当院では今、地域包括ケアシステムの構築に深く注力しています。それは、「地域の皆さまが病状や生活環境に応じ、いつでも安心して生活できる基盤をつくること」です。予防をはじめ、急性期（手術）から回復期、療養へと移り変わる幅広い状態に寄り添い、適切なケアを届けるために、リハビリテーションが果たす役割は極めて重要です。私たちの想いに共感していただける方、患者さんのために、地域のために、ぜひ私たちと一緒に力を尽くしてみませんか。

医療法人社団鴻愛会 このす共生病院
病院長 織田徹也



当院病棟実績

【年間手術件数】

400件以上（主に人工関節置換術、股関節・膝関節・肩関節の骨折後の手術が対象）

【リハビリテーション実施状況】

各病棟でリハビリ実施率95%を達成（入院早期から関わることで在宅復帰につなぐ）

【家屋調査実績】

年間75件（週1回以上リハビリスタッフが同行して家屋調査・外出練習を実施）

過去3年間の学術活動の足跡

2023年 2演題

埼玉県地域理学療法学会、関東甲信越支部理学療法学会

2024年 4演題

日本転倒予防学会、日本運動器科学会（若手奨励賞受賞）、全日本病院学会、埼玉県理学療法学会

2025年 3演題

埼玉県理学療法学会

外部業者との提携

株式会社TENTIALと協働：インソールに関する研究活動を実施

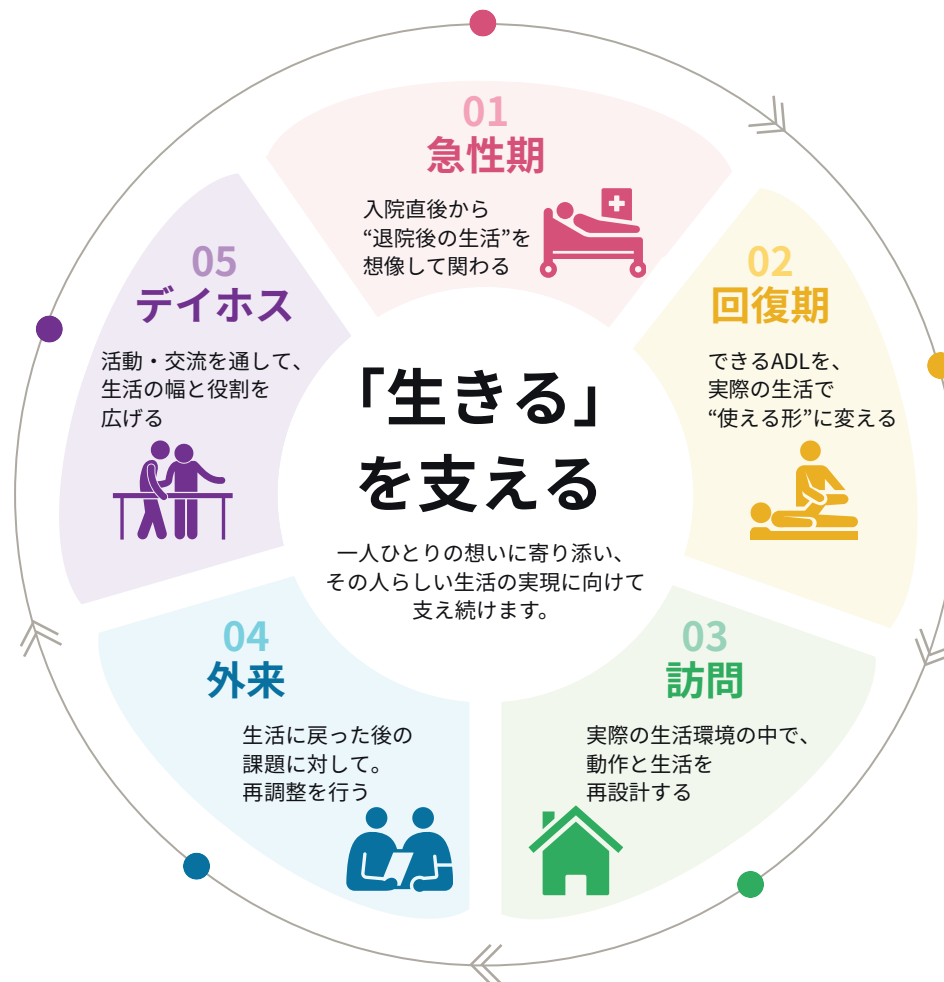
埼玉県立大学と協働：遠隔リハビリに関する研究活動を実施

カープスとの事業連携：”終わらないリハビリの形”を提供し続ける

“チーム力 × 環境 × 挑戦”で 進化を続けるリハビリテーション

関わり方が変われば、
リハビリはここまで広がる。

急性期から在宅まで切れ目なくつながる環境。
その中で私たちは、「機能回復」だけで終わらないリハビリを実践しています。
患者さんの“生き方”に踏み込む。それが私たちの仕事です。



すべての領域を、すべてのフェーズで対応しています



フェーズをまたいで、ひとりを支える。

- ・急性期～生活期までセラピスト同士が連携
- ・多職種との日常的な情報共有
- ・「次のステージ」を見据えた関わり



病院の中で、地域まで見据える。

- ・外来・訪問・デイホスまで一体的に展開
- ・通院中断を防ぐ仕組み（例：LINE活用など）
- ・生活背景まで踏まえた支援



“できる”の先へ踏み込む。

- ・社会参加・役割再獲得への関わり
- ・コミナスなど院内外の活動との連動
- ・予防や地域活動への展開

STAFF INTERVIEW



神田さん
(2025年入職)

Q1. この仕事を選んだきっかけは？

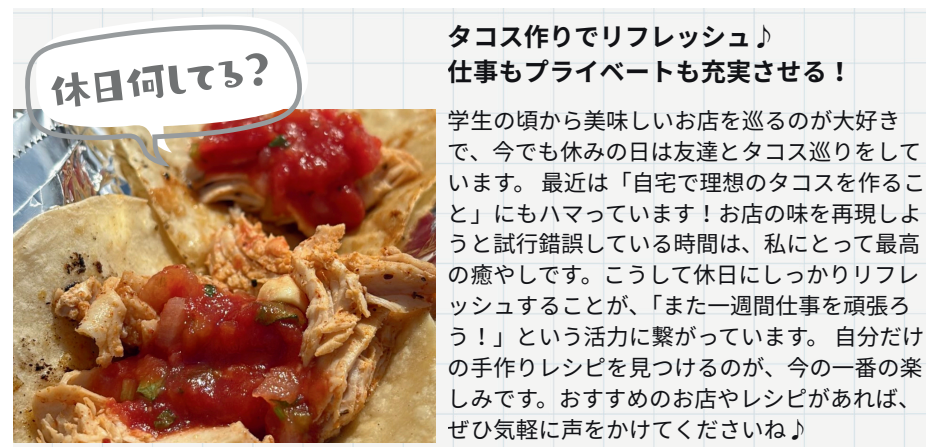
学生時代の怪我でリハビリを受けた際、理学療法士の方が身体だけでなく気持ちの面も支えてくださったことが印象に残っています。リハビリによってできることが増えていく喜びを自分自身が経験したことで、「今度は自分が患者さんの力になりたい」と思い、この仕事を選びました。

Q2. 職場の雰囲気を教えてください。

明るく相談しやすい雰囲気の職場です。リハスタッフ同士はもちろん、病棟の看護師さんや介護職の方とも気軽に情報共有ができるため、患者さんをチームで支えていると感じます。先輩方にも相談しやすく、日々学びながら成長できる環境です。

Q3. やりがいを感じるのはどんなとき？

患者さんが目標に向かって努力し、できることが増えていく姿を見られたときです。特に退院時に「リハビリを頑張ってよかった」「ありがとう」と言ってくれたら、とても嬉しく感じます。患者さんの生活の再建に関わることができ、自分自身も成長を実感できるところに大きなやりがいがあります。



タコス作りでリフレッシュ♪ 仕事もプライベートも充実させる！

学生の頃から美味しいお店を巡るのが大好きで、今でも休みの日は友達とタコス巡りをしています。最近は「自宅で理想のタコスを作ること」にもハマっています！お店の味を再現しようと試行錯誤している時間は、私にとって最高の癒やしです。こうして休日にしっかりリフレッシュすることが、「また一週間仕事を頑張ろう！」という活力に繋がっています。自分だけの手作りレシピを見つけるのが、今の一番の楽しみです。おすすめのお店やレシピがあれば、ぜひ気軽に声をかけてくださいね♪



当院の福利厚生・制度（一部抜粋）

生活を支える安心： 受診時の診療費補助や、栄養バランスの取れた職員食堂（1食450円）を完備。住宅手当や無料駐車場もあり、日々の生活をバックアップします。

家庭との両立を応援： 育休復帰率は100%。育児短時間勤務制度により、ライフステージが変わってもキャリアを継続できる環境です。

リフレッシュ&特典： 旅行費補助金や、グループ関連施設の割引（美容・歯科等）など、プライベートを彩る優待が充実。

ゆとりある働き方： 有給休暇は時間単位での取得が可能。残業削減にも積極的に取り組み、心身ともにゆとりを持って仕事に向き合えます。

皆勤手当： 安定した勤務や日々の貢献を評価するため、皆勤手当を支給しています。

地域手当： 通勤距離が3km以内の近隣地域に居住する職員を対象に支給しています。

インフレ手当： 物価上昇による生活負担を軽減するため、給与ベースアップとして一律支給しています



当院自慢の
美味しい食堂

当院のリハビリテーション科では、チームの力を信じ、患者さんとともに前を向く毎日があります。
 支え合い、学び合いながら、一人ひとりが専門職として成長し続ける。
 その現場で活躍する先輩たちに、仕事のやりがいやチームへの想いを聞きました。



Q1. この職場を選んだ理由は？

学生時代に実習でお世話になった際、スタッフ同士の関係性や職場全体の明るい雰囲気に魅力を感じました。実習や見学で様々な病院を訪れましたが、その中でも「ここが一番自分に合っている」と感じたことが入職の決め手です。

Q2. 入職後に感じたリハ科の魅力は？

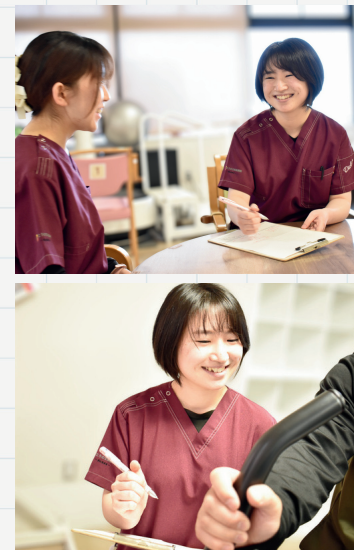
急性期、地域包括ケア病棟、外来、介護保険領域まで幅広く関わることができる点が魅力だと感じています。さまざまなステージの患者さんと関わることで、多様な視点を持ってリハビリに取り組むことができます。また、整形外科疾患の患者さんが多いため、整形分野をしっかり勉強したい方にはとても良い環境だと思います。また、OJT体制が整っており、チーム内にはプリセプター・メンターそれぞれのサポート体制があります。日々の相談や情報共有がしやすく、安心して学びながら成長できる環境です。

Q3. 印象に残っているエピソードはありますか？

入職して間もない頃に担当した患者さんのことが、特に印象に残っています。退院時に「信頼している」「人生の恩人です」と声をかけていただきました。
 当時は目の前の業務に精一杯でしたが、その言葉をいただいたことで、理学療法士という仕事の責任の大きさや、患者様一人ひとりと真剣に向き合うことの大切さを改めて実感しました。今でも自分の支えになっている経験です。

山崎さんの1日

役割も広がり、充実した毎日。
 成長を実感する、山崎さんの1日をご紹介します！



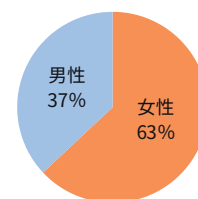
- 8:30 出勤
- 8:40 リハビリ開始
(40分×5人実施)
- 12:20 休憩
- 13:20 午後の業務開始
(40分×4人実施)
- 16:15 カルテ記入・明日の準備
・清掃
- 17:20 タ礼・チームミーティング
- 17:30 終業・退勤

リハスタッフデータ

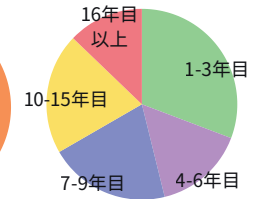
【スタッフ出身校一覧】

埼玉県：埼玉医科大学・文教学院大学・日本医療科学大学
 ・埼玉医療福祉専門学校・葵メディカルアカデミー
 ・医学アカデミー・上尾中央医療専門学校
 東京都：帝京平成大学・帝京科学大学
 群馬県：太田医療技術専門学校・前橋医療技術専門学校
 ・群馬大学
 栃木県：国際医療福祉大学
 宮城県：仙台リハビリテーション専門学校
 静岡県：静岡医療科学大学校
 宮崎県：宮崎医療技術専門学校
 広島県：広島医療福祉専門学校

【リハ科男女比率】



【経験年数別割合】



一歩ずつ、確かな力に 挑戦を応援する環境

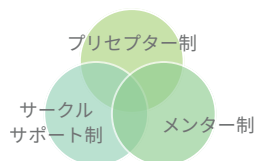


1年目の流れ

入職1年目は、新しい環境で不安も多いもの。当院リハビリテーション科では、先輩とのマンツーマン指導、科長・主任による定期面談を実施、段階的ステップアップカリキュラムで、着実にスキルを積み上げていきます。



教育支援制度



このす共生病院ではOJTガイドを活用して、プリセプターや先輩たちと一緒に日々の業務を行っています。

- **マンツーマン指導（プリセプター制度）**: 先輩が専属でつき、日々の臨床から精神面まで細やかにフォロー。
- **段階的ステップアップカリキュラム**: 基礎から専門技術まで、習熟度に合わせた独自の育成プログラムで着実なスキルアップを約束。さらに面談をすることで、今の課題や目標について振り返る機会を作っています。
- **外部研修・学会支援**: 参加費や交通費の補助制度により、専門・認定の取得など、さらなる高みを目指す挑戦を全力でバックアップします。
- **勉強会の開催**: 定期的な院内勉強会も開催し、スキルアップにも貢献します。大学教授が臨床指導のために月に1度来院し、直接指導や勉強会の開催をしています。

あなたらしく輝くための、成長のステップと2つの未来

1年目 ≧ **知る** ≦ 指導者の助言のもと、言われた内容を行動できる

2年目 ≧ **分かる 行う** ≦ 指導者の助言のもと、背景を理解した行動ができる
部署内のメンバーの一員として、自ら考え実践できる

3～5年目 ≧ **できる 分かち合う** ≦ 入院(急性期)・入院(地ケア)・心リハ／腎リハ・通所リハ
・訪問リハの各分野をローテーションで経験、実践する

Specialistの道

専門性をさらに極める、あくなき探求
培った知識と技術の、後輩への指導・共有
質の高い医療を目指す、臨床研究への挑戦

Generalistの道

幅広い分野への継続的な関わり
新たな運用方法や仕組みの構築
多職種がより円滑に動ける環境への変革

リーダー二人が語る 「一歩ずつ、成長できる場所」のつくり方



リハビリテーション科
科長 中里仰志

リハビリテーション科
係長 原弘樹

—— 当院が、教育において一番大切にしていることは？

中里科長：ひとことで言えば、新人を「置いてけぼりにしない」こと。孤独感を感じさせないよう、チーム全員で育てる空気感を大切にしています。

原係長：外部研修の費用補助などの制度もありますが、行きたいと思えば、学んだことをみんなで現場へシェアする仕組みも整えています。

中里科長：挑戦を応援するとは、個人の努力に任せることじゃない。一歩踏み出すための階段を、病院として用意することだと思っています。

—— 「働きやすさ」という点ではいかがですか？

原係長：私は係長として、スタッフの表情をよく見るようにしています。有給休暇の取得率も高いですし、何より「お互い様」の精神が根付いているのが自慢です。急な家庭の事情でも、チームでカバーし合える。それが当たり前文化になっていますよね。

中里科長：プライベートの充実が、結果として患者さんへの良いパフォーマンスに繋がりますから。福利厚生は単なる「おまけ」ではなく、良いリハビリを提供するための「必須条件」だと考えています。

原係長：これから入る方には、まずは安心して飛び込んできてほしいですね。失敗を恐れずに挑戦できる環境は、私たちが守ります。



👤 インターンシップ積極受付中

「どんな先輩がいるのかな？」「チームの空気感を知りたい」という学生の皆さんの声に応え、当院ではインターンシップを積極的に受け入れています。単なる見学にとどまらず、実際の業務の流れや職場の温かい雰囲気を感じていただけるプログラムを用意し、学校では学べない「現場のリアル」を丁寧にお伝えしています。



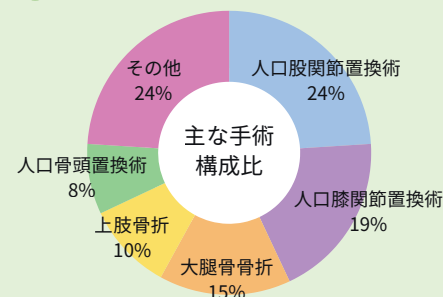
Q 職場の人間関係になじめるか心配です。

リハ科職員の平均年齢は30歳で、全体の半数を5年目までの若手が占めています。そのため活気があり、スタッフ同士の交流も盛んです。年の近い先輩が相談役(メンター)としてサポートする制度もあるため、何でも気軽に相談しやすい環境が整っています。

Q どのような疾患の患者様がリハビリをされていますか？

運動器(整形外科)を中心に、幅広い疾患に対応しています。
【入院】整形外科疾患 6割、内科疾患 3割、緩和・看取り 1割
【外来】整形外科疾患 8割、心疾患 1割、脳血管・神経疾患 1割

Q 病院全体では、どのような手術が多いですか？



当院で行われる手術の約半数は、ひざや股関節に強い痛みを抱える変形性関節症の患者様の「人工関節手術」です。リハビリスタッフは、医師や看護師と密に連携し、患者様が「歩く喜び」を取り戻すためのパートナーとして伴走します。症例数が非常に豊富なため、術後早期から回復期へのスムーズな移行を数多く経験できます。

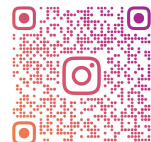
Let's
Grow
Together



【採用サイト】



【Instagram】



KYOUSEIHP



医療法人社団鴻愛会
こうのす共生病院

病院概要

医療法人社団鴻愛会 こうのす共生病院

〒365-0027 埼玉県鴻巣市上谷2073-1 ☎ 048-541-1131

診療科目

内科、整形外科、消化器外科、泌尿器科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、循環器内科、呼吸器内科、漢方内科、放射線科、腎臓内科(人工透析)、糖尿病内科、救急科、リハビリテーション科、麻酔科

許可病床数

116床

病院機能

二次救急指定病院／透析病床(最大30床)／訪問診療／短時間通所リハビリ／訪問リハビリ／人間ドック／健康診断／巡回健診／再生医療など

関連施設

OKP with Life クリニック with Life クリニック大宮駅前 ならしの共生クリニック
こうのすナーシングホーム共生園 あげお共生の家

